



6月3日
陶芸の杜おおぼり13年ぶり開所

6月定例会・第2回臨時会(5月)

定例会

議案要旨	P 2
議案審議	P 3
採決状況	P 4
一般質問	P 5～P 8

委員会のうごき	P 9～P 11
議長活動報告	P 12
議会活動報告・委員会委員の選任	P 13
町民の声	P 14

一般会計
補正予算12億3,791万1千円の
増額を可決!

要旨

6月定例会は、6月6日から13日までの8日間を会期として開催しました。

町長からは条例の制定・改正、契約の締結、土地の取得、補正予算、報告案件など17件の議案が提出されました。また、議会からは1件の議案を提出し、これらについて審議を行いました。

議案の主な質疑内容は3ページ、審議結果（採決状況）は4ページに掲載のとおりです。

【主な議案等の内容】

- 補正予算は、一般会計ほか国民健康保険事業特別会計及び水道事業会計を補正するもので、このうち一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ12億3,791万1千円増額するもので、これにより予算総額は347億6,888万8千円となります。

《歳出補正予算の主なもの》

企画費	6億2,129万円	基金積立金として、水道施設整備事業、農業水利施設等保全再生事業の財源とするため増額するもの
社会福祉総務費	6,595万7千円	主に令和3年度臨時特別給付金の事業実績に伴う精算をするため増額するもの
上水道費	2億7,687万5千円	飲料水確保に係る井戸掘削及びポンプ設置工事費並びに水道事業において実施している小野田系統施設整備に対する町からの補助金（財源は福島再生加速化交付金）の増額によるもの
農地保全管理費	2億4,028万2千円	ため池放射性物質対策における再調査に係る委託料及び、ため池放射性物質対策工事費（再対策）の増額によるもの

- 東日本大震災による被災者に対する令和5年度の国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の制定については、東日本大震災及び原子力災害の被害を受けた納税義務者等の納付すべき令和5年度の国民健康保険税及び介護保険料を減免するため、条例の制定をするものです。浪江町国民健康保険診療所条例の一部改正については、浪江診療所及び仮設津島診療所において、在宅医療その他必要な処置を行う際に健康保険の適用外となる費用について、算定の基準となる規定の追加など、所要の改正を行うものです。
- 契約の締結のうち、棚塩RE100産業団地造成工事については、町の目指すゼロカーボンシティを推進する産業団地として、立地企業による事業活動で使用する電力の100%を再生可能エネルギーで賄うことを目指す産業団地として、工業用地区画のほか、公園、調節池、森林及び道路などを整備するものです。古堤・関ノ倉・目倉沢ため池環境保全整備工事（再対策）は、農業用ため池の管理を行う農業者の被曝を防止する目的で放射性セシウム濃度が8,000Bq/kgを超える底質の除去を行うものです。
- 土地の取得については、さけふ化施設整備事業に伴い、その用地を取得するものです。
- 浪江町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定については、地方自治法の一部改正に伴い、議員が浪江町に対し請負をする者又はその支配人である場合における請負の状況を公表すること等により、請負の状況の透明性を確保し、もって議会の運営の公正及び事務の執行の適正を図るため、本条例を制定するものです。

主な質疑内容を報告します。

(囲み数字は議案番号)

契約の締結

46 津島地区防災備蓄倉庫等整備工事(建築)
【9,559万円】

津島活性化センター東側の隣接する土地に防災備蓄倉庫とトイレ棟を整備するものです。

質問(高野) 帰還人口が増加傾向にあります。防災備蓄は総計何人分を想定して計画しているか伺います。

総務課長 室原防災備蓄倉庫については約500人分、津島については約50人から100人分を予定しています。
(賛成全員で可決)

47 福島高度集成材製造センター製品保管倉庫新築工事
【2億9,260万円】

大断面集成材の需要の高まりを受け、製品保管倉庫を増設することで福島県産材の利用促進を図るため、棚塩産業団地に製品保管倉庫を新築するものです。

質問(小澤) ①延べ床面積の根拠は。

②製品、完成品等含めて何mぐらいを考えているか伺います。

産業振興課長 ①完成した集

材の製品を、約2か月間保管できる規模で算定しています。

②製品の種類によって、m数が変わりますが、約2か月間倉庫で保管しながら出庫することに耐え得る大きさで算出しています。
(賛成全員で可決)

49 古堤ため池環境保全整備工事(再対策)
【2億5,080万円】

令和元年から令和2年度にかけて、放射性物質対策工事を

行いましたが、対策後の大雨等の影響で、再度ため池内の放射性物質濃度が基準値を超えていることが判明したため、再対策を行うものです。

質問(高野) ①この4か所

だけしか線量が上がっているとは思えません。4か所以外に線量調査した箇所はあるのか。

②定期的、大雨被害後にも、再度検査、調査をすることは考えているか。

③国が実施している15か所の根拠について伺います。

農林水産課長 ①調査対象と

したため池の箇所は、30ため池です。

②国が実施するモニタリングの対象ため池は15ため池になっており、定期的に調査することになっていきます。線量が基準値を超過したということであれば、町として詳細調査に入ります。それ以外のため池については、台風や災害級の雨がいった際に調査することができるとなっているので、大雨の状況を踏まえて、国と相談しながら調査を実施していきます。

③場所や地形によって、国が

選定していると聞いています。

質問(山崎) ①ため池対策

の財源内訳は。設計単価は見直し後か、見直し前か。

②再対策については、ため池の底を掘削するだけでいいのかわかると疑問があります。大雨などの理由で土砂とか線量の高い物質がため池に流出されることは想定されるので、流出の防止策をすべきだと思います。他方、山林からの流出であれば、山林は除染しないとということから、数回繰り返せば間接的な除染にもつながると思います。8,000ベクレルを超えるのであれば、何回も対策工事を行うか協議されているのか。また、行うのであれば、財源はどのような協議がされているのか、お伺いします。

農林水産課長 ①福島再生加

速化交付金を活用し、補助事業として行っています。町負担分については、震災復興特別交付税で措置されているものです。単価については、見直ししていません。

②今後の流入に対する根本的な対策ですが、この先も大雨などの状況によって基準値を超える可能性はあると考えていま

す。山林が除染されていない状況であるため、町として、全体的な課題として今後も国に話をしていきたいと思っています。対策の回数については、国からは、大雨の状況等、明らかに外部要因が発生しているという確認をもって再対策の協議は受けるといった話をしています。何回までとの回数の明示はないのが現状です。
(賛成全員で可決)

令和5年6月定例会の採決状況 (6月13日採決)

議案番号	議案 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席	議席 議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	関連ページ
			武藤晴男	紺野豊	吉田邦弘	平本佳司	小澤英之	半谷正夫	紺野則夫	佐々木茂	山本幸一郎	高野武	渡邊泰彦	松田孝司	佐々木勇治	山崎博文	紺野榮重	
議案第43号	東日本大震災等による被災者に対する令和5年度の国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第44号	福島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福島県市町村総合事務組合規約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第45号	浪江町国民健康保険診療所条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第46号	工事請負契約の締結について (津島地区防災備蓄倉庫等整備工事(建築))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
議案第47号	工事請負契約の締結について (福島高度集成材製造センター製品保管倉庫新築工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
議案第48号	工事請負契約の締結について (棚塩RE100産業団地造成工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第49号	工事請負契約の締結について (古堤ため池環境保全整備工事(再対策))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2・3
議案第50号	工事請負契約の締結について (関ノ倉ため池環境保全整備工事(再対策))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
議案第51号	工事請負契約の締結について (目倉沢ため池環境保全整備工事(再対策))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
議案第52号	工事請負契約の締結について (町営高瀬野球場復旧工事(土木))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
議案第53号	土地の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第54号	令和5年度浪江町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第55号	令和5年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第56号	令和5年度浪江町水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第1号	令和4年度浪江町一般会計継続費繰越計算書について	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第2号	令和4年度浪江町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第3号	令和4年度浪江町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
発委第4号	浪江町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
	委員会の閉会中の継続審査又は調査の申し出について	決定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

令和5年第2回臨時会の採決状況 (5月16日採決)

議案番号	議案 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席	議席 議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	関連ページ
			武藤晴男	紺野豊	吉田邦弘	平本佳司	小澤英之	半谷正夫	紺野則夫	佐々木茂	山本幸一郎	高野武	渡邊泰彦	松田孝司	佐々木勇治	山崎博文	紺野榮重	
	常任委員会委員の選任について	選任	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
	議会運営委員会委員の選任について	選任	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
	議会報編集特別委員会委員の選任について	選任	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度浪江町一般会計補正予算(第7号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度浪江町文化及びスポーツ振興育成事業特別会計補正予算(第1号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度浪江町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第4号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて(浪江町税条例の一部改正について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて(浪江町国民健康保険税条例の一部改正について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第9号	専決処分の承認を求めることについて(新型コロナウイルス感染症の影響による被保険者等に対する令和4年度の国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第42号	令和5年度浪江町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-



※平本佳司議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。
 ※閉会中の継続審査は採決を行いません。
 ※定例会・臨時会の会議結果は町ホームページでもご覧になれます。



3 議員が質問

■小澤 英之 (6ページ)

- (1) 命名権 (ネーミングライツ) について
- (2) レンタルサイクルについて
- (3) ウクライナへの支援について
- (4) マイナンバーカードの件
- (5) 震災遺構浪江町立請戸小学校について

■渡邊 泰彦 (7ページ)

- (1) 一般財団法人福島なみえ勤労福祉事業団について
- (2) 一般社団法人まちづくり浪江について
- (3) 町の関係施設と町の財源について

■佐々木 茂 (8ページ)

- (1) 帰還困難区域の土地取引、売買について
- (2) 相馬野馬追について
- (3) F-R E I 職員の住宅政策について
- (4) 町営大平山霊園について

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員の質問・答弁を合わせて1000文字程度に要約していますので、ご了承ください。

町政と問

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、政治的姿勢を明らかにするものです。そのことにより、現行政策の変更、是正あるいは新規政策の採用などの効果があります。



お ざわ ひでゆき
小澤 英之 議員



Q 命名権（ネーミングライツ）の導入・制度化は

A 導入の可能性について調査、検討したい

質問 命名権（ネーミングライツ）とは、企業や個人が施設やイベントなどに自らの名前を冠する権利です。財源を確保する手段として命名権の制度化を行い、施設への導入を図るべきと考えますがその取扱いについて伺います。

総務課長 町内公共施設の利用状況やイベントなどの開催数、メディアへの露出状況などを総合的に勘案し、導入の可能性について調査、検討をしたいと考えます。

レンタルサイクルについて

質問 レンタルサイクルは、自転車を利用して利用するサービスです。浪江町に来町された方々が利用し、浪江町内周遊や自然観光を楽しんでいただくために、レンタルサイクルの導入について伺います。

産業振興課長 レンタルサイクル事業の取組は、本年3月より郡内の各町村のまちづくり会社で構成するふたばエイト（双葉郡まちづくり協議会）において、地域の魅力を巡る「学び×ワクワク サイクリング」事業として、レンタルサイクル事業を行っていません。事業を開始して間もないことから認知度が低いため、町としても積極的に紹介をしていきたいと考えています。

質問 ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が行われて本年2月24日で1年が過ぎましたが、停戦の様子が見られず今も侵攻が続いています。当町として、ウクライナへ支援すべきと考えますが、その取扱いについて伺います。

総務課長 募金などの実施を検討したいと思えます。

質問 ナターシャ・グジーさん



レンタルサイクル

ウクライナへの支援について

質問 ウクライナ出身の歌手さんは、ウクライナ出身の歌手で、チャリティーコンサートを行っており、母国ウクライナへの支援活動を行っています。ナターシャ・グジーさんの演奏会開催によるウクライナへの支援について伺います。

総務課長 演奏会については、町内において開催となれば、町としては後援という形での支援を検討したいと考えています。

質問 震災遺構浪江町立請戸小学校は、令和3年10月に一般公開後本年3月末までに約7万4,000人の方々が訪れています。安全確認、点検はどのような方法または頻度で行っているか伺います。

生涯学習課長 開館前および閉館時に職員による目視点検により落下物、飛散物等がないか確認をしています。震災遺構の保存および来館者の安全確保の観点から、専門家による建物調査も必要と考えています。

質問 来館者による「意見」「要望」を把握することは、今後運営するにあたって必要事項

震災遺構浪江町立請戸小学校について

と考えます。アンケートを実施し内容の充実を図るようすべきと考えますが、その取扱いについて伺います。

生涯学習課長 施設の2階に施設の感想などをノートに記入するコーナーを設置しており、来館者から多くの感想などをいただいています。また、スマートフォンなどでパンフレットから「想いを届けるLINEレター」として、QRコードから施設の感想などを投稿できるようになっています。今後は、紙面でのアンケートについても実施に向けて準備をしていきたいと考えています。



震災遺構浪江町立請戸小学校



わたなべ やすひこ
渡邊 泰彦 議員

Q 町として自主財源の確保の強化が必要では

A 将来のまちづくりの財源確保は大きな課題です

いついつの村なみえについて

質問 令和4年度のいついつの村なみえの宿泊部門、日帰り入浴部門、レストラン部門のそれぞれ状況と、令和5年度の方針をお尋ねします。

産業振興課長 宿泊部門に関しては、視察や研修のための団体客や、震災教育や防災教育のための学生の利用が多くなっています。今後は、団体客をプランニングしている旅行代理店へのセールスを積極的にやっています。日帰り入浴部門に関しては、新たにロウリュウ式サウナ※1を導入して、お客様から好評をいただいています。サウナブームでありますので、PRをしっかりとやっていきます。レストラン部門に関しては、宴会、会合、法事などの利用も促進するとともに、最大で60人位の方が食事できるスペースを持つていますので、団体客の昼食のご利用のセールスとPRをやっていきます。

質問 宿泊の最大宿泊人数が94人ですが、現在、使用されていない本館の2階、3階、4

階を改装して利用する計画があるのかをお尋ねします。

産業振興課長 今後の宿泊客の動向を見極めながら、遊休客室を検討します。整備には、配管や空調の修繕やレイアウトの変更など、かなりの金額が必要になります。費用対効果もしっかり把握しながら進めていきます。

道の駅なみえいついつ

質問 道の駅のなみえの令和4年度の決算状況について、指定管理費との考え方を含めてお尋ねします。

産業振興課長 現時点での速報値ではありますが、道の駅なみえ単体では約900万円程度の純利益になると報告を受けています。指定管理料の考え方がですが、施設には公共的な部分と営利、非営利の部分があります。その公共的な部分の維持管理経費、電気料、施設の人件費、消耗品、施設全体の設備の維持管理などを含めて算出しています。

質問 「まちづくりなみえ」にお願している道の駅なみえ

の指定管理料は4,500万円になつていふと思ひますが、経費の削減のために、指定管理料の見直しを考へるべきだと思ひますが、町の考へをお尋ねします。

産業振興課長 施設が出来て2年が経過しています。指定管理料については、指定管理者と共に、どういった在り方がいいのかを検討しています。基本的には、公共的な部分について管理をしていただく委託料という形の算出になつていますが、どういった費用がかつていふのかを精査する必要があります。今後は、そういった形で進めたいと考へています。

町の関係施設と町の財源について

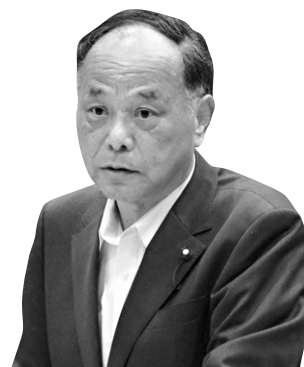
質問 持続可能な浪江町をつくるために、財源についての考へをお尋ねします。

町長 財政的な負担低減を含めて、今後の将来のまちづくりの財源確保は大きな課題だと思つています。復興の中で、今の住民が町外に避難している状況等を踏まえた税収についても、今後、大きな議論が必要かと思つています。限りある財源

を有効に活用する観点から、これまで以上に既存事業のスクラップアンドビルド※2を図るとともに、民間委託、指定管理者制度の導入により、施設運営費の抑制やアウトソーシング※3の導入による業務効率化の検討など、将来的に自立した行政運営が可能になるように、しっかりと取り組みます。また、将来にわたつての、安定的な財源基盤構築は必要であると思ひています。農林水産業といった従来の生業再生と併せて、町内に整備した産業団地への企業誘致により、企業からの投資を促進しながら財政基盤を強化するとともに、移住者の積極的な呼び込みを図り、居住人口を増やして安定的な財政基盤を構築したいと考へています。

- ※1 ロウリュウ式サウナとは、サウナストーンに水をかけて蒸気を発生させて室内の温度を上げることで、体感温度を上げて発汗させて楽しむサウナのことです。
- ※2 スクラップアンドビルドとは、行政機構における膨張抑制の方法の一つです。
- ※3 アウトソーシングとは、業務の一部を外部企業に委託することです。

さ さ き しげる
● 佐々木 茂 議員 ●



Q

請戸行政区単独による大平山霊園及び先人の丘園路改修工事を中止にすべきではないのか

A

町として、工事の許可は出しておりません。行政区の総会の判断をもとに、工事の取り下げを協議していきます

質問 大平山霊園、先人の丘の整備について、中止としない理由を伺います。

建設課長 総会について、正式な報告は受けていませんが、請戸行政区との工事の取り下げについて協議していきます。

成井副町長 工事の中止について、行政区の方で工事中止について整理したものと判断し、取り下げについて働きかけていきます。

帰還困難区域の
土地売買について

質問 帰還困難区域の土地の売買については、禁止されているかどうか、確認のため伺います。

企画財政課長 避難指示解除となっている地域と同様の扱いとなっております。

質問 帰還困難区域の土地取引に係る課税について伺います。

住民課長 国税は1年毎に法令

解釈通達が示されています。現在、帰還困難区域の価格については評価しないとして取り扱っており、課税されていません。

相馬野馬追について

質問 相馬野馬追の開催時期の変更が話題になっていますが、どのような方向で協議されているか伺います。

産業振興課長 出場者確保や暑さのため負担が大きいため、観点から、日程変更について、相馬野馬追執行委員会で検討しています。

質問 伝統文化継承のため、どのような対策を今後とられるか伺います。

産業振興課長 騎馬会のご尽力と文化継承のため、町としてしっかりと支援していきます。

FREEの住宅政策について

質問 FREEの住宅政策はどのようなものになっていますか。

市街地整備課長 職員の住居に関する情報は、個人情報に係るので公開できませんが町としては、町内に住んでいただけるよう物件の情報の提供に努めていきます。

質問 FREEの職員が町に住み、住民税等を支払われることが重要ではないのか。町づくりのため、住民税等を支

払っていただけるような政策が必要だと考えますが、町の考えを伺います。

市街地整備課長 国内外の研究人材確保のため、生活環境の整備が重要と考えています。FREE勤務職員等の住宅需要を把握し、民間事業者の動向を勘案しながら、住宅等の施策の検討をしていきます。



威風堂々と出陣

● 総務常任委員会 ●



委員長 半谷 正夫
副委員長 吉田 邦弘
委員 小澤 英之
佐々木 茂
平本 佳司

総務課、企画財政課、住民課、津島支所、出納室が所管する案件（6月定例会中）を審議しています。

■ 津島支所 ■ 今年度の予定は

問 津島地区で開催されるイベントの予定は。

答 下記のとおりです。なお、問い合わせは津島支所（TEL：0240-36-2111）までご連絡ください。

日にち	イベント名	開催場所	主催団体
8月26日(土)	津島deシネマ	旧津島小学校	シネマ実行委員会
10月21日(土)	標葉まつり	旧津島中学校校庭	浪江青年会議所
11月5日(日)	(仮称) 肉祭り	調整中	実行委員会・町

■ 総務課 ■

津島防災備蓄倉庫整備の内容は

問 備蓄倉庫の備蓄品は、どのような物か。

答 非常食、毛布、簡易ベット、水などです。

問 子供のおむつや生理用品を備蓄する予定は。

答 他の防災コミュニティセンターの備蓄品も精査し検討します。

問 なぜ、トイレと備蓄倉庫が隣り合わせなのか。

答 町営住宅建設のため、旧トイレを解体したため、防災倉庫と併せてトイレを整備するものです。

■ 住民課 ■

マイナンバーカードの状況は

問 申請件数はどれくらいか。

答 5月21日現在で、申請件数12,023件です。4月30日時点が11,923件でしたので、1か月で100件の新たな申請件数が増えました。

※住基人口が5月31日現在、15,400人なので78%の方が申請しています。

■ 企画財政課 ■

コワーキングスペース（ナミエシンカ）の利用方法は

問 令和4年10月31日に開所されましたが、利用状況は。

答 10月31日から3月末までで336人が利用し、1か月平均約70人が利用しています。

問 今後の活用方法は。

答 町民の方も交流の場として利用しやすいようにカフェやイベントを開催し、地域の利用促進を図ります。

また、起業家・事業者に対してセミナーを行い、ナミエシンカのPRをし、利用促進を考えています。



浪江駅東側に開所されたナミエシンカ

● 産業・建設常任委員会 ●

産業振興課、農林水産課、住宅水道課、建設課、市街地整備課、農業委員会が所管する案件（6月定例会中）を審議しています。

委員長 渡邊 泰彦
副委員長 武藤 晴男
委員 山本幸一郎
松田 孝司
紺野 榮重



■ 農林水産課 ■
さけふ化施設と
さけ採捕施設は

問 施設の概要は。

答 小野田地内に「さけふ化施設」、北幾世橋地内に「さけ採捕施設」を計画します。令和4年度に造成設計及び建築設計をし、令和5年度に用地取得・造成工事、令和6年度に建築工事、令和7年度の完成を目指す予定です。

■ 建設課 ■
町内道路などの
管理状況は

問 町道・河川などの管理は。

答 ① 町道除草作業(年2回)を、避難指示解除区域259km、帰還困難区域127kmを予定しています。
② 河川環境整備は、請戸川工区及び高瀬川工区で64,900㎡の除草を予定しています。

■ 住宅水道課 ■
上下水道料金の
免除は

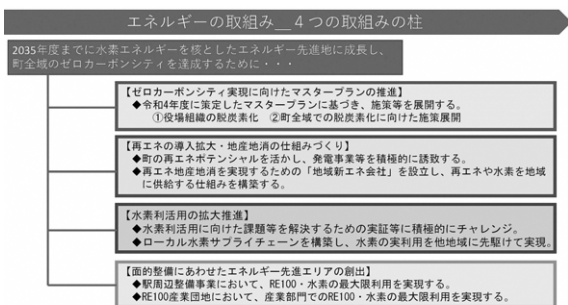
問 上下水道料の料金免除期間は。

答 令和5年3月31日に避難指示解除となった区域についても、平成29年3月31日に避難指示解除となった区域と同様の免除（基本料金：4年間全額免除、従量料金：5年間全額免除+1年間半額免除）を予定しています。

■ 産業振興課 ■
新たなエネルギーの取り組みは

問 取り組みの柱は。

答 町全域のゼロカーボンシティを達成するために、下記の4つの柱に取り組みます。



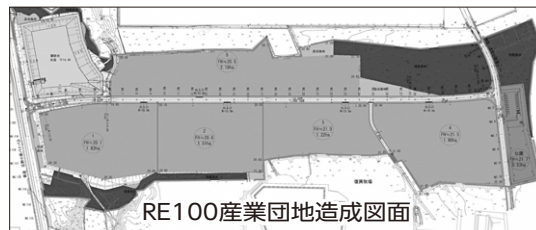
《 町内施設を視察 》

6月13日(火)に棚塩産業団地の稼働している施設と建設予定施設を視察しました。

視察場所：FLAM、FH2R、RE100産業団地、復興牧場用地

問 RE100産業団地の概要は。

答 棚塩地内に5区画工業用地を計画します。造成面積は14.54haです。



問 復興牧場の概要は。

答 棚塩地内に畜産施設を計画します。造成面積は17.5haです。



● 文教・厚生常任委員会 ●



委員長 佐々木勇治
副委員長 紺野 豊
委員 紺野 則夫
高野 武
山崎 博文

教育総務課、生涯学習課、健康保険課、介護福祉課、浪江診療所、仮設津島診療所が所管する案件（6月定例会中）を審議しています。

■ 介護福祉課 ■ 住民税非課税世帯等臨時特別給付金は

問 住民税非課税世帯等臨時特別給付金とは。

答 令和4年度住民税均等割非課税世帯や令和5年1月以降収入が減少し、「住民税非課税世帯相当」の収入となった世帯を支援する給付金です。（1世帯あたり3万円）

■ 浪江診療所 ■ 訪問診療（在宅医療）は

問 対象となる方は。

答 当院（診療所）かかりつけの方に限ります。また、町内に居住し、以下に該当され医師が認める方となります。
◎病気や障害などで、定期的な通院が困難な方
◎脳梗塞の後遺症や神経難病などにより、日常生活動作に支障のある方
◎認知症に対する医療的アドバイスを必要とされる方
◎その他、自立歩行が困難な方 など

問 当院（診療所）の在宅医療は。

答 訪問診療（月1～2回）です。原則月1回、あらかじめ決められた日時に訪問し、診療を行います。時間は、15時45分～16時15分（曜日によって異なります。）で、1日1～2人を診療します。※夜間・休日は対応不可となります。

問 費用の目安は。

答 生活する場所が自宅か施設か、お身体の状態、自己負担割合等によって費用が異なります。また、処置や検査、臨時対応等を行った場合は別途費用がかかる場合があります。※医療費等免除証明書をお持ちの方は、保険適用分の自己負担はありません。

問 自費負担は。

答 訪問診療に要した交通費は1キロメートルあたり25円、文書料（診断書作成費用など）、及びその他保険適用外材料費等は実費負担とさせていただきます。

■ 生涯学習課 ■ 議案第52号 工事請負契約 （町営高瀬野球場復旧工事（土木）） の締結について

問 町営高瀬野球場を利用できるのはいつ頃になるのか。

答 令和6年8月～9月頃を予定しています。



復旧工事前の高瀬球場

議長活動報告

3月14日～6月5日

日にち	活動詳細	場所
3月18日	令和4年度にじいるこども園卒園式	にじいるこども園
	津島住宅団地完成式（挨拶あり）	津島支所
3月22日	日揮ホールディングス(株)立地協定締結式	道の駅なみえ大会議室
3月23日	令和4年度なみえ創成小学校修了証書・卒業証書授与式（挨拶あり）	なみえ創成小・中学校体育館
	丈六公園開園行事	丈六公園
3月29日	転出教職員離任式（挨拶あり）	浪江町役場401会議室
3月30日	双葉警察署室原駐在所開所式（挨拶あり）	室原駐在所
4月 3日	転入教職員着任式（挨拶あり）	浪江町役場401会議室
	辞令交付式	浪江町役場大会議室
4月 6日	令和5年度なみえ創成小・中学校入学式（挨拶あり）	なみえ創成小・中学校体育館
4月 7日	令和5年度浪江にじいるこども園入園式・進級式	にじいるこども園
4月12日	畜産施設敷地造成工事安全祈願祭（挨拶あり）	棚塩地内
4月14日	FCスクールバスの完成お披露目会	なみえ創成小・中学校
4月16日	令和5年度浪江町消防団春季検閲式（挨拶あり）	秋桜アリーナ駐車場
4月20日	議長会議	双葉地方会館
4月29日 ～5月7日	米国ロサンゼルス市、ランカスター市訪問	米国
5月10日	㈱トッキュウ立地協定締結式	浪江町役場大会議室
5月17日	議長会議	双葉地方会館
5月19日	第63回浪江町商工会通常総代会（挨拶あり）	浪江町地域スポーツセンター
5月20日	令和5年度なみえ創成小・中学校合同運動会（挨拶あり）	なみえ創成小・中学校
5月22日	帰還困難区域の復興・再生に向けた要望活動	都内 復興庁、他
5月23日	令和5年度町村議会議長・副議長研修会	東京国際フォーラム
5月26日	令和5年第2回双葉地方広域市町村圏組合議会定例会	双葉地方会館
6月 3日	陶芸の杜おおぼり開所式（挨拶あり）	陶芸の杜おおぼり
6月 5日	令和5年度福島県町村議会議長会定期総会	コラッセふくしま

米国ロサンゼルス市、
ランカスター市※1

日にち	場所	内容
	千葉県成田市	17時20分 成田国際空港出発
4月29日	ロサンゼルス市	11時 ロサンゼルス空港着 ウェルカム・ディスカッション
4月30日	ロサンゼルス市	Mayor Meeting LA領事館公邸レセプション
5月 1日	ロサンゼルス市	Verde Xchange（環境国際会議）
		Verde Xchange（環境国際会議）
5月 2日	ロサンゼルス市	ジャパンハウスLA訪問 LA領事館公邸ディナー
		Port of LAツアー
5月 3日	ロサンゼルス市	PHA全体会議参加 ランカスター市へ移動
		再生可能エネルギー施設視察
5月 4日	ランカスター市	企業による実証研究紹介 レセプション・ディナー
		PHA発表式
5月 5日	ランカスター市	ディナー
5月 6日	ロサンゼルス市	13時5分 ロサンゼルス空港出発
5月 7日	千葉県成田市	16時40分 成田国際空港着

米国（ランカスター市等）訪問報告書

4月29日から5月7日まで、町執行部と共にロサンゼルス市での環境国際会議、PHA※2会議への出席、及びランカスター市内の再生可能エネルギー施設等を視察するため、アメリカに滞在しました。

当町は、12年前の震災及び原子力発電所事故により、一時は町内に住めない状況となりました。

しかし、その間原子力エネルギーに頼らず、クリーンで安全な町にしようと、2020年に世界最大規模の水素エネルギー研究フィールドが開所されました。そしてカーボンニュートラルにすべくゼロカーボン宣言を行い、日本初の水素タウンを目標にこれまでやってきました。

町民の皆さまから、「実証だけで現実的でない」、「その施設は無用の負の遺産になるのでは」との声をお聞きすることもあります。現在、町は数か所の建物でタンクでの水素利用実証研究や、パイプラインでの水素供給実証研究等も行っており、グリーンエネルギーの先導者であると実感しました。

また、今後の日本、そして【浪江町】において、水素エネルギーを初めとし、太陽光・水力・風力の自然エネルギー利用の重要性を改めて認識しました。

それが、町民・県民・国民に浸透して、これが「あたりまえ」のエネルギー政策になるよう、そして当町がそのトップランナーであり続けるため、町長をはじめとする執行部の取り組みを、議長として力強く後押ししていきます。

※1 ランカスター市とは、アメリカ合衆国カリフォルニア州南部ロサンゼルス郡の都市です。

※2 PHAとは、「パシフィック・ハイドロジェン・アライアンス」（通称PHA＝太平洋水素共同体）になります。



議会活動の経過報告 4月13日～7月10日

(定例会及び臨時会中の全員協議会・各委員会を除く)

4月

- 19日 ・ 全員協議会
- 20日 ・ 双葉地方町村議会議長会会議 (富岡町)

5月

- 10日 ・ 議会運営委員会
- 15日 ・ 双葉地方広域市町村圏組合議会保健衛生常任委員会 (富岡町)
- 16日 ・ 第2回臨時会 ※1
- 17日 ・ 双葉地方広域市町村圏組合議会総務常任委員会 (富岡町)
- ・ 双葉地方町村議会議長会会議 (富岡町)
- 23日 ・ 全国町村議会議長・副議長研修会 (東京都)
- 25日 ・ 全員協議会
- ・ 議会報編集特別委員会

- 26日 ・ 双葉地方広域市町村圏組合議会定例会 (富岡町)

- 30日 ・ 議会運営委員会

6月

- 5日 ・ 県町村議会議長会令和5年度定期総会 (福島市)

- 6日 ・ 6月定例会(～13日) ※1

- 13日 ・ 産業・建設常任委員会

- 27日 ・ 県町村議会議長会広報研修会 (福島市)

- 29日 ・ 議会報編集特別委員会

7月

- 6日 ・ 議会報編集特別委員会

- 10日 ・ 議会報編集特別委員会

※1 本会議の出欠状況は、町ホームページ(浪江町議会→会議結果一覧)をご覧ください。



委員会委員の選任

令和5年第2回臨時会にて、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の委員の改選を行い、次のとおり新たな委員を選任しました。(任期：令和5年5月16日～令和7年4月30日)

	常 任 委 員 会			議会運営委員会	議会報編集特別委員会
	総 務	産業・建設	文教・厚生		
委員 長	半谷 正夫	渡邊 泰彦	佐々木勇治	山崎 博文	松田 孝司
副委員 長	吉田 邦弘	武藤 晴男	紺野 豊	佐々木勇治※	小澤 英之
委 員	小澤 英之	山本幸一郎	紺野 則夫	半谷 正夫	武藤 晴男
	佐々木 茂	松田 孝司	高野 武	佐々木 茂※	紺野 豊
	平本 佳司	紺野 榮重	山崎 博文	渡邊 泰彦	吉田 邦弘
				紺野 榮重	紺野 則夫

※5月16日の第2回臨時会において、佐々木茂議員が議会運営委員会副委員長に選任されましたが、本人より辞任届が提出され許可されました。これに伴い、5月30日付で佐々木勇治議員が議会運営委員会副委員長に選任されました。

町民の声



松本 渉さん
(4区)

これからの 浪江町に思うこと

2年ほど前にいわき市に自宅を再建してようやく福島県に戻ってきました。震災があつて以降、年に数回は一時帰宅などで浪江に戻っております。最初の頃は、戻る度に家屋解体が進み、どんな建物があつたかという記憶が風化してゆく寂しさを感じたものです。それが帰還に向けた支援策の一環で大手スーパーの outlet、中斷していた国道114号線の拡幅工事と、それに付随する道の駅の開業など前向きな動きが出てきました。

道の駅と同じ敷地内には、地産産業の大堀相馬焼の展示・販売スペースを設けたり、馴染みのある地酒醸造の酒造を復活させるなど、かつての浪江町を取り戻すような動きが出てきたのは喜ばしいことでした。今年も、避難指示が解除された陶芸の杜おぼりて13年ぶりとなる「大せとまつり」も開催されました。

鮭のふ化場・やな場の整備計画もあると聞いております。施設の運用開始までは時間がかかるとは思いますが、いづれ泉田川にも賑わいが戻ることでしょう。

震災以後、浪江町として最大の課題は町民の帰還でした。これはインフラ整備や、住宅再建支援策・事業支援策などによって帰還希望者の望みを叶えたように思われます。

それでも浪江町の経済・財政を考えると、今後は、町への移住者の拡大などによる人口の確保が大きな課題となってくるでしょう。折よく「福島国際研究教育機構」の誘致が決定しました。更に、駅周辺の再開発計画も素晴らしいグラウンドデザインが提示されたようです。

駅前再開発のほうは、鉄道利用の促進より周辺の商業施設・イベントも可能な広場の確保など、観光も含めた集客力を重視した構想となっているように感じます。「作って終わり」の箱も

の行政ではなく、テナント企業の確保や適時の入れ替え・魅力あるイベントを考え出す企画力などが今後求められる要素になるでしょう。

福島国際研究教育機構は、5つの分野を柱とした研究開発・産業化を目指す概要にありますが、水素を主体としたクリーンエネルギー分野は、棚塩地区に設立された「福島水素エネルギー研究フィールド」との連携・協力も図れる点からも結果が出やすいような気がします。

これまでの「復興の灯」を次世代、さらには後の世代にも引き継いで行き、浪江町の未来が明るいものとなることを願っております。

「町民の声」に掲載する 原稿を募集しています。

.....
議会に対するご意見、要望、感想等をお寄せいただける方は、浪江町議会事務局 (☎0240-34-0254) または、議会報編集特別委員にご連絡ください。

編集後記

ここ数年間、新型コロナウイルス感染症発生・感染拡大で規制絡みの窮屈な生活の中だいたい不自由を感じた方も多かったことと思います。ようやく収束に向い始めたようで5月に5類に移行、行政主導から個人の選択を尊重とのことで感染対策の実施は個人・事業主の判断となりました。最近も、マスクを外す方も少しずつ増え以前の生活環境に戻ってきているようです。

5月の臨時会において、常任委員会など改選があり当特別委員会も委員が選任されました。任期半ばを過ぎ任期終了までの2年近くになりますが委員一同で、議会活動や町の動きなどをわかりやすく正確にお伝え出来ればと思いますのでよろしくお願いたします。(松田)

発行責任者

議長 平本 佳司

議会報編集特別委員会

委員長 松田 孝司

副委員長 小澤 英晴

委員 武藤 晴野

委員 小武 野田

委員 吉野 邦夫

委員 吉野 則夫

